

平成26年11月定例教育委員会会議録

1. 開会宣言 平成26年11月4日(火) 10時00分
2. 場 所 市庁舎 本館 第一委員会室
3. 出席者 河本委員長・中尾委員・衛藤委員
左京委員・増田教育長
4. 教育委員会事務局出席者
松尾教育部長 田中教育総務課長
木森生涯学習課長 蛙田生涯学習課長補佐
片平学校教育課長 毛利学校教育課指導室長
松永学校教育課長補佐 尾中指導主事
米満教育総務課長補佐
5. 傍聴人 1人
6. 議 題
 - (1) 前回会議録の承認について
 - ・平成26年10月定例教育委員会会議録
 - (2) 報告
 - ・平成26年11月学校教育行事及び社会教育行事について
 - ・その他
 - (3) 協議事項
 - ・平成26年12月定例教育委員会の開催について
 - ・全国学力・学習状況調査結果及び公表について
 - ・その他
 - (4) 議決事項
 - ・第28号議案 平成26年度中間市一般会計補正予算要求について
 - ・第29号議案 中間市地域交流センター設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

7. 審議の経過及び結果

(1) 前回会議録の承認について

平成26年10月定例教育委員会会議録、出席委員全員了承する。

(2) 報告

平成26年11月学校教育行事及び社会教育行事について

●学校教育、社会教育それぞれ11月の行事予定表に基づき関係課長から順次報告がなされた。

質 疑 応 答

<左京委員>

29日に、中学生英語暗唱大会が行われますが、先日、中間東中学校に学校訪問した際、大会に向けてクラス予選・校内予選を実施し代表を選抜するとの説明がありましたが、本年度における他の中学校の選抜方法はどのようになっていますか。

<片平学校教育課長>

本年度も、中間東中学校以外でもコンテストに向けた取組みは、各学校行われているという事です。

<左京委員>

ひとりでも多くの子どもたちに、暗唱大会に向けての取組みを行い、参加して頂きたいと思えます。

また、ALTの活用については、単に子どもたちの英語の力を高めるという事のみならず、他の教科においても関わって頂く事も検討してはいいのではないかと思います。どうですか。

<片平学校教育課長>

これは非常に大事な事だと思います。ALTは日本にまで来て英語教育をお手伝いしようと、そして、ALTは非常に中間市の事を知りたい、福岡県の事を知りたい、日本の事を知りたい等、意欲が凄いです。それらを併せて子どもたちに伝えて頂きたいと思えます。

<衛藤委員>

今月の12日・13日に規範意識についての取組みがありますが、県の事業ですか。

<片平学校教育課長>

これは県の事業で「保護者と学ぶ規範意識育成事業」という事で、スマートホンの危険性・飲酒・性教育の専門家をお呼びして授業をしています。全小中学校で取り組んでいます。

<中尾委員>

先日、高森町の小中学校に視察に行かせて頂いた時に、ICT授業についての発表がありまして特に私が感じたのは、小学生6年生算数の授業の時にデジタル教科書を使用しての電子黒板での授業でしたが、子どもたちが躓いた時に直ぐに小学生5年生の時のデジタル教科書を開いて、ふりかえりながら授業を行っていました。この様な授業も本市でも行えて頂ければと感じました。各学校にも1台ずつ置いてあるという事ですが、まだまだ、活用されていない様なので、先生たちへの指導を是非、行って頂きたいと思えます。

<増田教育長>

現在、各学校に1台か2台しか電子黒板を置いていない状況なので、今後、台数を増やし活用して行きたいと思えます。

<河本委員長>

高森町での授業を視察させて頂いた時に、電子黒板を利用した授業は、本当に、素晴らしいと思いましたが、短所として、板書に手が回らない事だそうです。現在、中間市は空調設備設置等で予算の面で難しいと思えますので、板書作成等に力を入れていただくよう各学校にお願いすることは出来ませんか。

<片平学校教育課長>

各学校で授業を行う上で指導計画を作成します。その中で板書計画も併せて、板書に目あて・まとめを示し、どのような1時間の授業だったのかを板書を最終的に見た段階で振り返ることができるよう、授業づくりの一つとして進めているところです。

<左京委員>

22日に、悠々大学の閉講式がありますが、学習された方々が学ばれた事を地域や学校と様々な場所で活かしたいと望まれた時、中央公民館が実施している他の講座で終了した方も含めて、そのような場を提供する様な取組みをされているのかどうかお聞かせ下さい。

<蛙田生涯学習課長補佐>

生涯学習にかかる事業といたしまして、市民悠々大学、或いは、きらめき大学等、実施させて頂いております。この事業を午前中は、教養課程がありまして、詐欺事件の対処法や原子力についてのお話し、また、自治問題といたしまして、これからの日本・世界のあり方というテーマで講演を頂く講座をいたしまして、午後からは、切り絵等、趣味を活かした専門コースを設定いたしまして、修了生につきましては、生涯学習の一環といたしまして、地域住民等に還元することを目的といたしまして、老人ホーム・デイサービス等に慰問しながらボランティア活動を行っています。

<左京委員>

市民の方が、学習された成果を地域で発揮できる環境づくりを行うことは、自己実現・生きがい

になるという観点で生涯学習を推進する上でも大切な取組みとなりますので、今後とも積極的に行っていただきたいと思います。

●その他

○中間市教育委員学校訪問について

〈毛利学校教育課指導室長〉

11月10日(月)中間南中学校、11月12日(水)中間北中学校で行われますので、よろしくお願ひします。

○第1回ベストラン・トライアル in なかまの結果報告

〈毛利学校教育課指導室長〉

50m走男子の部 市平均9.49秒 県平均9.77秒 国平均9.26秒

50m走女子の部 市平均9.74秒 県平均10.1秒 国平均9.55秒

来年度、第2回目も市内全小学校4年生を対象に行っていきたいと思います。

○小学生相撲大会結果報告

〈木森生涯学習課長〉

10月26日に、第3回中間市小学生相撲大会を開催いたしました。

参加人数は、59人で個人戦と団体戦に別けて競技を行いました。

中間北小学校が1位、中間南小学校が2位、中間小学校が3位です。

関係者は30人、観客の方は220人以上と思われます。

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正に伴う中間市の条例改正

〈田中教育総務課長〉

中間市総務課と協議を致しましたところ、変更しなければならない条例は4つあるという事で、所管については、全部総務課の所管となります。議案は、3月議会で提案させて頂く予定です。

近隣の自治体も同様に3月議会で提案される様です。

(3)協議事項

●平成26年12月定例教育委員会の開催について

〈田中教育総務課長〉

平成26年11月27日(木) 10時00分開催

●全国学力・学習状況調査結果及び公表について

〈尾中指導主事〉

結果につきましては、1から7までの項目だてをしておりますが、小学校の全国学力学習状況調査の国語・算数については、算数B以外は県・全国平均を上回っていますので改善が進んでいると思います。

中学校については、国語・数学については下回っています。県学力実態調査の社会・理科は県平均並みとなっています。家庭学習時間は、小学生では1時間未満や0分という子が増えています。携帯と学力の相関関係では、3時間以上行っている子どもたちと、1時間未満携帯に触れている子どもたちの平均正答率を比べています。明らかに1時間未満携帯に触れている子どもたちの方が学力が高い結果となっています。このような実態を踏まえて本市での取組みとして、今までは各学校でどのような取組みを行うのかと云うことでしたが、小中連携して学力アップに取り組むを進めています。

経験が1・2・3年目の先生方の公開授業、特別支援についても設置数が多くなっていますので公開授業も義務付けて、指導主事等を派遣して支援を行っていく様に進めています。

〈左京委員〉

成績についてですが、小学校については、昨年度と比較してすべての教科において大きな改善が見られますが、中学校では、残念なことに全国学力・学習状況調査を見る限りにおいては、各教科とも全国平均を下回っています。このことについて、どのように分析されているのかお伺いしたいと思います。

〈片平学校教育課長〉

まず、1点目ですが、年度ごとにテストは行われています。

平成26年度の中学3年生につきましては、過去ずっと見ても学力があまり付いていない状況があります。それと、教師との問題については、授業力が高まっていないのではないかと言うところもあります。

2点目ですが、この試験が4月にあるという事で、修学旅行と重なり試験モードになっていないという事もあります。

〈増田教育長〉

小学校については、小中連携等いろいろな形で結果を残せているのですが、中学校については、学校行事を見直さないと中学生に対してあまり過大な期待をかけてもきついのではないかと思います。中間市の4中学校とも、様々な学校行事が重複して行われており、ひとつの学校行事に集中できにくい状況であるため、昨年度から学校行事の見直しを行っています。修学旅行については、就学援助の問題があり、予算化をしないと難しいので、今年、入学してきた1年生から予算化して、2年生時に修学旅行に行く様にと、3年計画で学校行事の見直しを行っています。来年は、中学2年生と3年生が一緒に行き、再来年からは、中学2年生が行く事としています。修学旅行だけが大きな原因では無いと思いますので、今後の学力向上については、総合的に取り組んで行きたいと思います。

〈片平学校教育課長〉

公表については、県から全国学力・学習状況調査について、市町村の数値を公表したいということが以前から申し出がありましたが、数値を公表する上で序列化に繋がるという事で拒否してきました。

その中で、数値ではなくて正答率を棒グラフに示したものを公表して行きたいとの事で、中間市の考えを問われています。まず、校長先生に、ご意見を頂いたところ賛否両論です。数値で公表する事によって授業の改善策に繋がれば良いという意見、逆に、数値を公表する事によって教職員の評価に繋がったりするのではないかと等、色々なご意見がありました。また、小中学校のPTA会長は、個人の意見ではあるが、しっかり公表をして頂きたい、点数だけ知りたいのではなくて、今後、どう学力を高めてくれるのか、成果と課題を明らかにして、今後の取組みをしっかりと示してほしいという事でした。

組合からは、序列化や教師の評価に繋がってくるので数値的な公表は反対という意向を示しています。

従って、中間市につきましては、状況調査や今後の進め方等を併せたところで、県の示した棒グラフで公表したいと思います。

〈衛藤委員〉

公表については、インターネットで行うのですか、保護者向けにプリントを配布するのですか。

〈片平学校教育課長〉

県の方は、インターネットで公表すると聞いています。中間市は、校長会等で協議して進めたいと思います。

〈衛藤委員〉

保護者には、全国学力・学習状況調査が、何のためのテストなのか解っていないと思われるので、文部科学省で示されている主旨と狙い等を含めて公表して頂ければと思います。

〈増田教育長〉

従いまして、県が公表する分につきましては、中間市としては棒グラフだけ公表するという事で了承し、中間市の公表の内容につきましては、今後の教育委員会で協議して参ります。

●その他
特になし

(4) 議決事項

- ・第28号議案 平成26年度中間市一般会計補正予算要求について
- ・第29号議案 中間市地域交流センター設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

上記、事項について、出席委員全員協議の結果、承認された。